

グッドニュース（世界バランス55TMA）

2014年度（平成26年度）特別勘定の現況

●投資環境（2014年度）

日本株式市場

日経平均株価は、期初14,870円で始まりました。4月に5%から8%への消費増税が実施された直後の金融政策決定会合での現状維持決定を受け、4月中旬に同株価は今年度の安値となる13,885円まで下落しました。10月末に日銀が追加金融緩和を決定したことで外国為替市場において円安が進行し、輸出関連の大型株を中心に同株価は上昇し、12月には2007年7月以来の18,000円台まで到達しました。1月にはECBが量的緩和を3月に実施することを決定したことを好感し、米欧株価が上昇したこと等を受け、3月に日経平均株価は、2000年5月以来の今年度高値19,778円まで上昇しましたが、その後やや戻し期末は19,206円で終了しました。

外国株式市場

米国のS&P500は、期初1,873.96で始まりました。4月上旬の米企業減益決算等により、同指数は1,814.36まで一時下落しました。10月中旬にかけて世界経済の減速懸念、米国金融政策の量的緩和終了やエボラ出血熱の感染者拡大等によりリスク回避的な流れを受けて、同指数は一時1,820程度まで下落しました。12月に原油価格の急落、ロシアルーブルの急落、1月にスイスフランの急騰等を受けリスク回避的に同指数が2,000前後まで下落する局面がありましたが、その後堅調に推移し同指数は2月に史上最高値となる2,119.59をつけました。期末は若干値を戻しS&P500は2,067.89で終了しました。また、英国のFTSE100は、期初6,598.37で始まりました。10月中旬にかけて世界経済の減速懸念等によりリスク回避的な流れを受けて、同指数は一時6,072.68まで下落しました。その後は、徐々に上値を切り上げつつ堅調に推移し、同指数は3月には史上最高値となる7,065.08にまで上昇しました。その後、やや反落しFTSE100は6,773.04で終了しました。

日本債券市場

10年国債利回りは、期初0.64%で始まり、日銀の金融緩和策の買入継続等による国債の良好な需給環境を背景に、0.5%前後まで徐々に低下しました。9月には米国の早期利上げ観測や日本の株価上昇等に伴い、同利回りは0.58%程度まで上昇しました。10月末に日銀が追加金融緩和を決定すると、同利回りは0.44%程度まで低下しました。その後発表された2014年7-9月期GDPマイナス成長、消費増税の実施時期を2017年4月に確定すると安倍政権より意思表示があったことや日銀の追加緩和の効果等を受け、同利回りは1月に0.20%程度まで低下しました。1月下旬の金融政策決定会合で追加緩和策が見送られると同利回りは上昇に転じ、その後は0.30～0.50%程度の幅で推移しました。10年物国債利回りは0.40%で期末を迎えました。

外国債券市場

米国10年債利回りは、期初2.81%で始まりました。10月中旬にかけて、世界景気の減速懸念、エボラ熱感染者拡大、米国の量的緩和終了等を受けたりリスク回避的な動きから、同利回りは一時2.2%程度まで低下しました。また、年度後半に原油価格の下落が顕著となる中、インフレ率の低下、新興国経済の需要鈍化の観測等を背景に、同利回りは1月に1.64%まで低下しました。2～3月にかけては、米国労働市場の回復等を背景とする2015年内の利上げ観測等から2.2%程度まで同利回りが上昇する局面がありましたが、米国10年国債利回りは1.92%で期末を迎えました。また、ドイツ10年国債利回りは、期初1.56%で始まりました。その後、ECBによる追加緩和期待やデフレ懸念等を背景にほぼ年度を通じて同利回りの低下局面が継続しました。3月にはECBによる量的緩和導入が決定され、0.16%程度まで一段と低下しましたが、ドイツ10年国債利回りは、0.18%で期末を迎えました。

外国為替市場

ドル円相場は、期初1米ドル＝103.07円で始まりました。4月～8月までは1米ドル＝100～105円程度の狭い幅での動きが継続しましたが、9月にはGPIF改革による海外投資拡大等への期待から1米ドル＝110円程度まで円安・ドル高が進行しました。10月下旬～月末にかけFOMCにおける米国の量的緩和終了決定、日銀による追加緩和の決定等により、円安・ドル高が一段と進行し、12月には1米ドル＝122円近辺にまで到達しました。その後、3月まで1米ドル＝115～122円程度の幅で一進一退の動きが継続し、1米ドル＝119.95円で期末を迎えました。また、ユーロ円相場は、期初1ユーロ＝141.96円で始まりました。日銀の追加緩和決定による円安・ユーロ高が進行し、12月には1ユーロ＝149.78円に到達しました。その後、ECBの量的緩和導入決定等によりユーロは下落基調を強め、3月には一時1ユーロ＝126.91円まで円高・ユーロ安水準に到達し、1ユーロ＝128.68円で期末を迎えました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| ①当期の運用実績の推移 | 特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2014年度決算(決算日：2015年3月31日)を行いました。当資料は2014年度の運用状況をご報告するものです。

3ページ以降は特別勘定レポート(2015年4月発行(2015年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	世界バランス 55TMA
現預金・コールローン	1,672
有価証券	36,469
公社債	-
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	36,469
貸付金	-
その他	62
貸倒引当金	-
合計	38,203

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	世界バランス 55TMA
利息配当金等収入	3,348
有価証券売却益	-
有価証券償還益	-
有価証券評価益	18,026
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	16,416
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	4,958

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス 55TMA	TMA 世界バランスファンド55VA (適格機関投資家限定)	-	-	12,077,421	12,010,814

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

(単位：件、百万円)

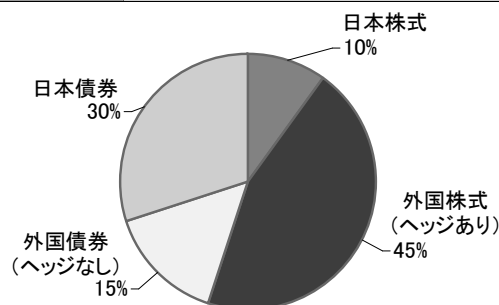
項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険 GF グッドニュース (世界バランス 55TMA)	7,864	38,042

※単位未満切捨て

特別勘定の内容

この商品の特別勘定は以下のとおりです。
なお投資対象となる投資信託については、次ページ以降をご覧ください。

種類	総合型	投資対象となる投資信託	TMA世界バランスファンド55VA (適格機関投資家限定)
特別勘定の名称	世界バランス55TMA	運用会社	東京海上アセットマネジメント*
特別勘定の設定日	2007年6月14日	資産運用関係費用 (年率) ^(注)	0.27%(税抜0.25%)程度
運用方針	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行い、外国債券部分については原則として為替ヘッジを行いません。 基本資産配分は、日本株式10%、外国株式(ヘッジあり)45%、外国債券(ヘッジなし)15%、日本債券(短期金融資産を含む)30%です。		



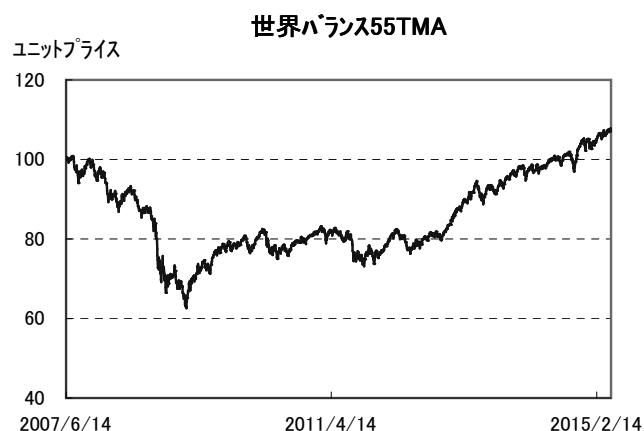
(注) 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

* 2014年4月1日付で、商号が「東京海上アセットマネジメント投信株式会社」から「東京海上アセットマネジメント株式会社」に変更となりました。

特別勘定の運用状況

2015年3月末現在

●ユニットプライスの推移



●ユニットプライスの期間収益率(直近1年)

	ユニット プライス	前月比	期間収益率 (左記基準日より 2015年3月末現在まで)
2014年3月31日	97.83	-0.10%	8.90%
2014年4月30日	98.00	0.17%	8.71%
2014年5月31日	99.13	1.15%	7.47%
2014年6月30日	100.10	0.98%	6.43%
2014年7月31日	100.48	0.37%	6.03%
2014年8月31日	100.94	0.47%	5.54%
2014年9月30日	101.07	0.13%	5.41%
2014年10月31日	100.99	-0.07%	5.49%
2014年11月30日	104.82	3.79%	1.64%
2014年12月31日	105.12	0.29%	1.35%
2015年1月31日	104.00	-1.07%	2.44%
2015年2月28日	106.57	2.48%	-0.03%
2015年3月31日	106.54	-0.03%	-

●特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比
投資信託	36,469	95.5%
現預金その他	1,734	4.5%
純資産総額	38,203	100.0%

※ 保険契約の解約等の異動に備えて、若干の現預金を保有しています。

※ 金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

・グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)(世界バランス55TMA)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【組入投資信託の運用概況】

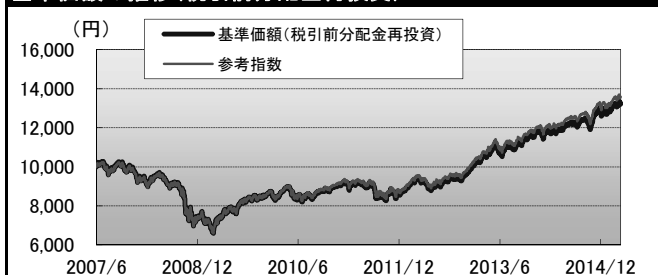
2015年3月31日現在

- ・ グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)(世界バランス55TMA)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・ 当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・ 当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・ 当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

TMA世界バランスファンド55VA＜適格機関投資家限定＞

運用レポート(2015年3月31日現在)

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



当月末基準価額・純資産総額

基準価額	13,267円
前月末比	+25円
純資産総額	36,470百万円
設定日	2007年6月14日
決算日	原則11月10日
信託期間	無期限

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2015/2/27)	3ヵ月 (2014/12/30)	6ヵ月 (2014/9/30)	1年 (2014/3/31)	設定来 (2007/6/13)
当ファンド	+0.19%	+2.08%	+6.97%	+12.00%	+32.67%
参考指数	+0.15%	+2.19%	+7.02%	+12.25%	+35.96%
差	+0.04%	-0.11%	-0.05%	-0.26%	-3.29%

騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出していますので、実際の投資家利回りとは異なる場合があります。

分配金情報(税引前)

※分配金は1万口当たり

基準日現在、分配実績はありません。

ポートフォリオ構成

資産 (マザーファンド)	実質 組入比率	基本 配分比率	差
日本株式	9.9%	10%	-0.1%
外国株式	45.4%	45%	+0.4%
日本債券	29.8%	30%	-0.2%
外国債券	15.0%	15%	-0.0%
現金等	-0.1%	-	-0.1%
合計	100%	100%	0.0%

計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

※株式には投資証券、投資信託受益証券および新株予約権証券を含む場合があります。
※為替ヘッジに伴う評価損益は、現金等に含まれます。

ファンドの特色

- 主な投資対象 主としてTMA日本株TOPIXマザーファンド、TMA外国株式インデックスマザーファンド、TMA日本債券インデックスマザーファンド、TMA外国債券インデックスマザーファンド受益証券に投資します。
- 投資方針 主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内外の複数の資産(日本株式、外国株式、日本債券、外国債券)に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。TMA外国株式インデックスマザーファンドに含まれる外貨建資産については、円ヘッジすることを原則とします。
- 参考指数 当ファンドはベンチマークを設けません。ただし、以下の各指数を各比率で合成した複合指数を参考指数とします。

資産	指数	比率
日本株式	TOPIX(配当込み)	10%
外国株式(為替ヘッジあり)	MSCIコクサイ指数(円ヘッジベース)	45%
日本債券	NOMURA-BPI(総合)	30%
外国債券(為替ヘッジなし)	シティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)	15%

各マザーファンドのベンチマーク

- 【日本株式】 TMA日本株TOPIXマザーファンド: TOPIX
- 【外国株式】 TMA外国株式インデックスマザーファンド: MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)
- 【日本債券】 TMA日本債券インデックスマザーファンド: NOMURA-BPI(総合)
- 【外国債券】 TMA外国債券インデックスマザーファンド: シティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

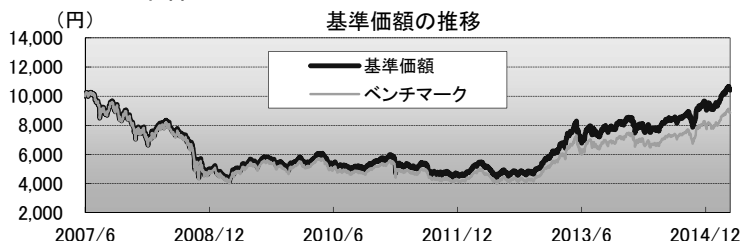
【組入投資信託の運用概況】

TMA日本株TOPIXマザーファンド・TMA外国株式インデックスマザーファンド

2015年3月31日現在

- ・グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)(世界バランス55TMA)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

◆TMA日本株TOPIXマザーファンド



※基準価額およびベンチマークは、2007年6月13日を10,000円として指数化しています。
※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1031銘柄)

No	銘柄	業種名	比率(%)
1	トヨタ自動車	自動車	4.97
2	三菱UFJ FG	銀行	2.53
3	ソフトバンク	通信	1.57
4	本田技研工業	自動車	1.51
5	三井住友 FG	銀行	1.48
6	みずほ FG	銀行	1.24
7	日本電信電話	通信	1.23
8	ファナック	機械	1.17
9	KDDI	通信	1.17
10	キヤノン	産業用エレクトロニクス	1.06

騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	+2.06	+4.05
ベンチマーク	+1.26	-11.62
差	+0.79	+15.67

純資産総額

151,046 百万円

※ベンチマークはTOPIXです。

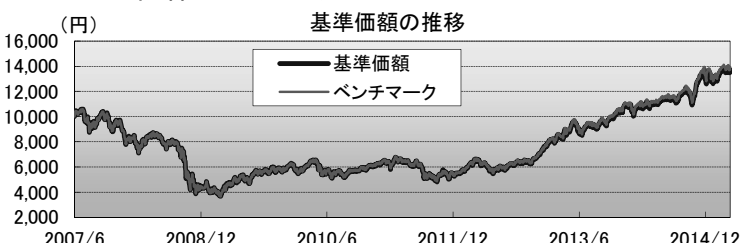
※TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

組入上位10業種

No	業種名	比率(%)
1	自動車	11.97
2	銀行	8.71
3	産業用エレクトロニクス	7.52
4	機械	6.83
5	基礎素材	6.20
6	医薬品・ヘルスケア	5.97
7	建設・住宅・不動産	5.65
8	運輸	5.05
9	各種金融	4.92
10	通信	4.71

※組入上位10銘柄・組入上位10業種は、マザーファンド(TMA日本株TOPIXマザーファンド)ベースです。※業種名は、弊社独自の21業種分類です。※比率は、マザーファンドの純資産額に占める割合です。※株式には、新株予約権証券を含む場合があります。

◆TMA外国株式インデックスマザーファンド



※基準価額およびベンチマークは、2007年6月13日を10,000円として指数化しています。
※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1021銘柄)

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.27
2	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	1.08
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.98
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.86
5	WELLS FARGO & COMPANY	アメリカ	銀行	0.84
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.75
7	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.72
8	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	0.72
9	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.71
10	PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.67

騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-0.22	+37.29
ベンチマーク	-0.42	+39.29
差	+0.20	-2.00

純資産総額

143,306 百万円

※ベンチマークは、MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)です。

※MSCIコクサイ指数(円ヘッジなし・円ベース)とは、MSCI社が発表している日本を除く主要先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCIの許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCIは当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

組入上位10カ国

No	国名	比率(%)
1	アメリカ	59.71
2	イギリス	7.96
3	フランス	3.84
4	ドイツ	3.84
5	カナダ	3.74
6	スイス	3.70
7	オーストラリア	2.88
8	スペイン	1.37
9	香港	1.28
10	スウェーデン	1.26

組入上位10業種

No	業種	比率(%)
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.79
2	銀行	8.76
3	エネルギー	7.60
4	ソフトウェア・サービス	6.86
5	資本財	6.77
6	食品・飲料・タバコ	5.79
7	素材	4.88
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.26
9	保険	4.00
10	各種金融	3.94

※組入上位10銘柄・組入上位10カ国・組入上位10業種は、マザーファンド(TMA外国株式インデックスマザーファンド)ベースです。※比率は、マザーファンドの純資産額に占める割合です。

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

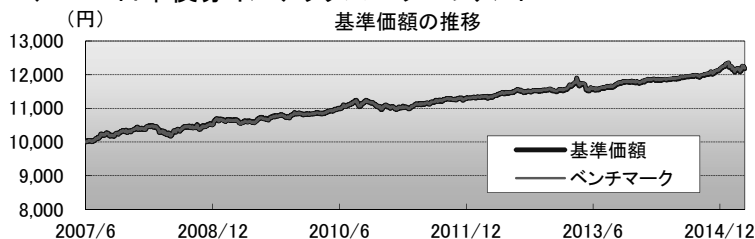
【組入投資信託の運用概況】

2015年3月31日現在

TMA日本債券インデックスマザーファンド・TMA外国債券インデックスマザーファンド

- ・グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)(世界バランス55TMA)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社から提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

◆TMA日本債券インデックスマザーファンド



※基準価額およびベンチマークは、2007年6月13日を10,000円として指数化しています。
※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	+0.06	+21.83
ベンチマーク	+0.07	+22.00
差	-0.01	-0.17

純資産総額

142,803 百万円

※ベンチマークは、NOMURA-BPI(総合)です。
※NOMURA-BPI(総合)とは、野村證券が公表する日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。NOMURA-BPIは、野村證券の知的財産です。野村證券は、当ファンドの運用成績等に関し、何ら責任を負うものではありません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数:455銘柄)

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第106回利付国債(5年)	0.20	2017/09/20	1.41
2	第335回利付国債(10年)	0.50	2024/09/20	1.14
3	第303回利付国債(10年)	1.40	2019/09/20	1.04
4	第122回利付国債(5年)	0.10	2019/12/20	0.94
5	第328回利付国債(10年)	0.60	2023/03/20	0.93
6	第337回利付国債(10年)	0.30	2024/12/20	0.90
7	第305回利付国債(10年)	1.30	2019/12/20	0.89
8	第289回利付国債(10年)	1.50	2017/12/20	0.87
9	第332回利付国債(10年)	0.60	2023/12/20	0.86
10	第288回利付国債(10年)	1.70	2017/09/20	0.83

※組入上位10銘柄・債券種別比率・ポートフォリオの状況は、マザーファンド(TMA日本債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率は、マザーファンドの純資産額に占める割合です。

債券種別比率

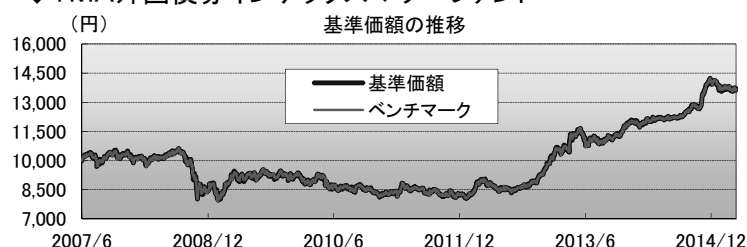
種別	比率(%)
国債	74.21
地方債	8.91
政保・特殊債	6.16
金融債	0.00
事業債等	10.19

ポートフォリオの状況

平均複利利回り(%)	0.42
平均クーポン(%)	1.49
平均残存年数(年)	9.17
修正デュレーション(年)	8.10

※ポートフォリオの状況は、途中償還などを考慮して計算しています。

◆TMA外国債券インデックスマザーファンド



※基準価額およびベンチマークは、2007年6月13日を10,000円として指数化しています。
※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

騰落率(%)

	1カ月	設定来
当ファンド	-0.38	+36.99
ベンチマーク	-0.74	+36.77
差	+0.36	+0.23

純資産総額

194,268 百万円

※ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)です。
※シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数:443銘柄)

No	銘柄	利率(%)	償還日	通貨	比率(%)
1	米国債	3.250	2016/07/31	米ドル	1.06
2	米国債	4.625	2017/02/15	米ドル	1.00
3	米国債	1.000	2016/08/31	米ドル	1.00
4	米国債	0.625	2017/05/31	米ドル	0.96
5	米国債	8.750	2017/05/15	米ドル	0.83
6	米国債	4.375	2041/05/15	米ドル	0.82
7	米国債	3.125	2016/10/31	米ドル	0.77
8	米国債	4.750	2041/02/15	米ドル	0.75
9	米国債	3.125	2019/05/15	米ドル	0.73
10	米国債	2.500	2017/06/30	米ドル	0.71

通貨別比率(組入上位5通貨)

通貨	比率(%)
米ドル	41.52
ユーロ	40.38
英ポンド	8.04
カナダ・ドル	2.22
オーストラリア・ドル	1.65

ポートフォリオの状況

平均複利利回り(%)	1.06
平均クーポン(%)	3.68
平均残存期間(年)	8.80
修正デュレーション(年)	6.81

※組入上位10銘柄・通貨別比率・ポートフォリオの状況は、マザーファンド(TMA外国債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率は、マザーファンドの純資産額に占める割合です。

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用:東京海上アセットマネジメント
URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。

	項 目	内 容	費 用	備 考(適用時期等)
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の 4%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用 期間中	保険関係費用 (保険契約管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して 年率 2.55%	特別勘定の純資産総額に対して 年率2.55%/365日を乗じた額を 毎日控除します。
	資産運用 関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して 年率 0.27% 程度 (税抜0.25%程度)	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して 年率0.27%程度/365日を 乗じた額を毎日控除します。
年金支払 期間中	保険関係費用 (年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0% 以内	年金支払開始日以降、年1回の 年金支払日に責任準備金から 控除します。

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて

この商品のご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。

この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動(増減)につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被る場合があります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。

ご注意いただきたい事項

- 「グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 「グッドニュース(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金(年金支払期間15年)のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社
ホームページ <http://www.tmn-anshin.co.jp>

ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせ



0120-155-730

受付時間 月～金/9:00～17:00

(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)



100201